

Trimble RealWorks 12.3 アップデート一覧

データ管理

項目	機能識別	機能の概要
Autodesk® Revit®への直接リンク 配管用	新機能	Autodesk® Revit®へ直接送る機能を新しく追加しました。Trimble RealWorksとAutodesk® Revit®の同時利用という直感的なワークフローにより生産性が向上しています。RealWorksからRevit®を起動し (Productionの [ホーム] タブまたは [モデル] タブで [Revit® > Revit® を開く]に移動)、目的のパイプを選択し、[Revit® に送信] を押すだけです。これにより、Revit®の開いているセッションで新しいネイティブ Revit オブジェクトが直接作成されます。互換性のあるオブジェクトには、ストレート セグメント、エルボ、ティー、およびレジュサが含まれます。この機能を使用するには、Autodesk Revit® を適切なライセンスでインストールする必要があります。
Trimble X7 エリアスキャンのサポート	新機能	Trimble® Perspective®のバージョン 3.1.1では、エリア スキャンがサポートされました。TDX プロジェクトを Trimble RealWorks にインポートすると、同じ場所から取得されたスキャンが同じステーションに属するものとして表示されます。
ドラッグ&ドロップによるファイルの追加	機能強化	スキャン ファイルをビューにドラッグ アンド ドロップして、既存のプロジェクトにファイル追加できるようになりました。ファイルを現在のプロジェクトに追加するかかの確認メッセージを表示します。
TZFファイル パスの編集	機能強化	別のファイルのパスを貼り付けて、インポートした TZF ファイルのパスを変更する機能を追加しました。

モデリング

項目	機能識別	機能の概要
パイプフランジとバルブ	新機能	[パイプの作成] ツールでパイプ フランジとバルブをパイプ経路に追加できるようになりました。パイプ上上の位置を選択するだけで、ソフトウェアがその位置に最適なフランジまたはバルブのモデルを計算します。
偏心パイプレデューサ	新機能	偏心パイプ レデューサを使用して、直径が変化し、オフセットされた平行軸を持つパイプをモデル化できるようになりました。2 つの直線セグメントを選択してそれらを接続するか、レデューサの後のポイント クラウドを選択して新しいジオメトリを挿入します。
ベントパイプモデリング	新機能	たるみによって変形したパイプを直線エレメントよりモデル化できるようになりました。「ベントパイプに変換」コマンドを使って、一連の直線エレメントやエルボをポイントクラウドにフィットするように自動的に置き換えます。
パイプの作成: フィッティング	機能強化	T字やエルボ、レデューサーのようなコネクタをフィットするためのアルゴリズムに、いくつかの改良を行いました。それに合わせて、「制約無しでフィット」を使って直交しないT字も生成できるようになりました。
パイプの作成: 改善	機能強化	パイプを生成の様々な機能について、使いやすさの向上とモデル生成でより良い結果を得るための改良を行いました。以下の改良が含まれています。 <ul style="list-style-type: none"> - 選択されていないパイプ ジオメトリをロードして、新しいパイプを開始します - 多くのコマンドの追加のショートカット (ツールチップに表示) - 閉じたパイプ ループを作成しようとした際にエラー メッセージ - カスタマイズ可能なマニピュレータ サイズ ([設定] > [ツール] > [マニピュレータ])
ジオメトリの修正とメッシュの移動: ユーザー定義のディスプレイメント	新機能	[ジオメトリの変更] と [メッシュの移動] の両方に新しいツールバーが追加され、メッシュまたはジオメトリを移動する距離を指定できるようになりました。

レジストレーション

項目	機能識別	機能の概要
点群ベースの合成: ステーションベースのビュー	機能強化	点群ベースの合成において、ポイントをより簡単にピックアップするためにステーションベースモードを利用できます。また、一時的に検査官モードに切り替えて拡大鏡ツール (Nキー) を使うこともできます。
点群ベースの合成: 色カスタマイズ	機能強化	点群ベースの合成の固定局と移動局に初期値として利用されている赤色と緑色の色をカスタマイズできるようになりました。オプション ツール > 点群ベースの合成においてお好みの色を設定できます。
点群ベースの合成: クラウドカラー	機能強化	点群ベースの合成のレンダリングオプションの初期値が点群の色に設定されるようになりました。
ジオリアルランス: ステーション レバリング	機能強化	点群のジオリアルランス中にステーションのレバリングを考慮するようになりました。標準化された点群を選択している場合に、ジオリアルランスツールは全体の傾きを維持した変換を行うように計算します。

検査

項目	機能識別	機能の概要
直壁検査: 投影方向を反転	機能強化	壁の検査ツールにおける検査で投影方向を反転できるようになりました。投影方向の変更は検査結果の正負や検査マップの色に影響を与えます。

ユーザーインターフェース

項目	機能識別	機能の概要
グループ表示	機能強化	グループ タイトルの横にある電球アイコンを使用して、作業スペース内のグループの表示を直接オンまたはオフに切り替えることに対応しました。
選択してグループを作成	機能強化	作業スペースウィンドウ内で複数の要素を選択し、CtrlキーとGキーを押して新しいグループに追加できるようになりました。マウス右ボタンをクリックして表示されるメニューや、編集タブから実行することもできます。

解決された問題

オリ投影	修正	多くのステーションを含むプロジェクトでのパフォーマンスの向上しました。
3D ディスプレイ	修正	Intel® UHD および Intel® Iris® Xe グラフィックス カードによる点群表示のちらつきに対応しました。
グリッド化インポート (FLS/E57/PTX)	修正	より高い圧縮率を利用することで、TZFファイルをより小さくするようになりました。
IFC インポート	修正	インポートした後にデータベースが破損する可能性がある件を修正しました。
TDX インポート	修正	パノラマ画像をJPEGとしてエクスポートするオプションを常に利用できるようにしました。
TDX エクスポート	修正	エリアスキャンに対してステーションイメージが生成されないようにしました。
FLSインポート	修正	FLSファイルに関連付けられたメタファイルがTZFファイルに転送されるようになりました。

解決された問題

E57インポート	修正	正方形ではないピクセルを持つグリッドのE57ファイルをインポートできるようになりました。
E57エクスポート	修正	構造化されていないデータセットのエクスポート時に進捗バーを表示するようにしました。
E57エクスポート	修正	複数のTZFファイルを含むステーションをエクスポートする時のレベリング精度の問題を修正しました。
LASエクスポート	修正	データセットのエクスポート時に進捗バーを表示するようにしました。
OBJエクスポート	修正	テクスチャメッシュをエクスポートする時の命名規則を修正しました。
RMXエクスポート	修正	回転精度を向上しました。
RCPエクスポート	修正	Ver.12.2で導入されたパフォーマンス問題を修正しました。
制限ボックスマニピュレータ	修正	カーソルを使った制限ボックスのマニピュレータの選択を改善しました。
レジストレーションビジュアルチェック	修正	標準ビューボタンのデフォルトビューをトップビューにしました。
スキャンエクスプローラ	修正	ポイント抽出の安定性を向上しました。
自動分類 屋外	修正	日本語での名前付けの問題を修正しました。
メッシュ移動の視覚化	修正	メッシュ移動の視覚化の問題を修正しました。
サンプリングスキャンの生成	修正	サンプリング中に進捗バーを表示するようにしました。
2D簡易ライン	修正	ポリラインが変更された時にプロジェクトを変更済みとマークするようにしました。
鉄筋作業ツール	修正	セグメンテーション後にプロファイルを再定義できるようにしました。
自動分類 シリンダー	修正	アプリケーションがクラッシュする場合がある件を解決しました。
パイプ生成	修正	デフォルトのパイプエルボの半径をモデル化されたオブジェクトと一致するようにしました。
ジオメトリをパイプに変換	修正	プロジェクトが破損する問題を解決しました。
AutoCAD®へ送る	修正	Version 2023をサポートするようにしました。